

教材教具名 進路学習ノート(実習用)	教科(進路学習) 総合的な学習	
-----------------------	--------------------	--

高等部1年生 校内実習ノート



高等部2年生 職場体験実習ノート



高等部3年生職場実習ノート



教材教具の概略(ねらいと使い方) 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

1 ねらい

職場(体験)実習, 校内実習の事前・事後学習と実習中に活用する実習ノートを通して、

- (1) 事前学習では実習の予定や計画、目標を知り見通しを立てて実習に臨む。
- (2) 実習中は日々の振り返りを通して、自己評価を行い、次の日に向けて頑張ることを確認する。
- (3) 事後学習では実習をふり返り、自分が行ったことや成果や課題を確認する。

2 発達段階

文字が書ける生徒から写真等で内容を理解できる生徒を対象として、文字を中心としたノートや写真や絵を活用したノートのように生徒の実態に合わせて選べるようにしている。

3 使い方

職場(体験)実習, 校内実習の

事前学習は、総合的な学習の時間やHRの中での個別の学習と、事前の職場見学やビデオ学習を通して実習の計画(場所、内容、行き方、引率の先生、準備物等)や目標を決めて、文字での記入や写真の貼り付けによって実習ノートを使って学習する。

実習中は、実習先で毎日の実習終了時に文字記入や、写真のはり付け、実物・絵を活用した日々の実習の振り返り学習を行い、内容や感想、そして生徒によっては成果や課題について実習ノートを使って確認をする。

事後学習は総合的な学習の時間やHRの中での個別の学習を通して、実習全体を通しての行った内容の確認や感想、そして生徒によっては反省と課題について文字や写真・ビデオ等で実習ノートを使って学習する。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等(次に利用する方のために)

・発達課題や情報認知の仕方にあった、本人が分かりやすい写真や絵などを活用したノートの工夫が更に必要である。

- ・事前・事後学習の教育課程上の位置づけと指導体制。
- ・実習先と一緒に作業(活動)した職員さんや仲間の人の了解を得て「一緒に行った人」、自分がやった「仕事・活動」の写真を活用できるように作業所等と連携をとる。
- ・実習で内容が報告できるように仕事や活動で使った物を借りてくる。